

容器包装類の分別収集の取り組み意識に影響を及ぼす因子の抽出

関西大学大学院工学研究科

学生員 ○塩見 聡

関西大学 正会員 中野加都子, 三浦 浩之, 和田 安彦

1. はじめに

容器包装リサイクル法が施行されたことにより、自治体では容器包装類の分別収集を実施し始めている。容器包装類の分別収集では消費者、自治体、事業者の3社の役割が重要であり、とりわけ消費者による分別排出協力が容器包装類の再資源化量の増加に大きく影響する。そのため、消費者による分別収集への取り組み意識の分析解明が重要となっている。そこで本研究では、容器包装類の分別収集の取り組み意識に影響を及ぼす因子の抽出を行い、消費者が分別収集の協力意識を向上させる方策を提案した。

2. アンケートの概要

アンケート調査は、平成12年1月から容器包装類（ペットボトル、白色トレイ、プラスチックボトル）の分別収集が実施されたA地区の住民を対象とした。調査日は分別収集が開始されてから1年後の平成13年1月であり、調査方法は各戸に訪問し用紙を配布・回収する直接訪問方式で行った。有効回答数は160（有効回答率62.3%）である。

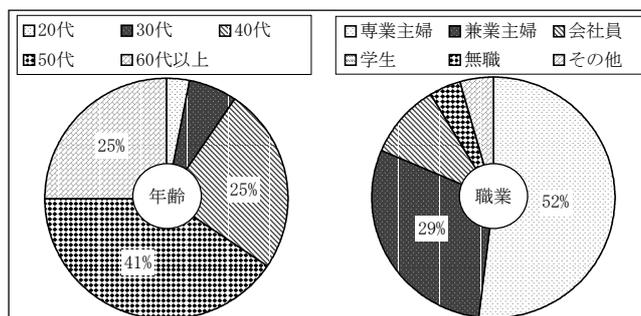


図-1 アンケートの回答者属性

調査内容は、①新分別収集の協力度、②分別収集への賛否、③分別排出する各容器の1ヶ月あたりの排出量、④容器包装類の購入時の心がけ、⑤属性（図-1）の5項目である。回答者の年齢は、40代以上が90%以上を占めており、職業は主婦が80%以上を占めている。このことから、家庭ごみの排出に親密に関わっている人がアンケートに回答しているものと考えられる。

3. アンケート調査の結果

(1) 分別収集への協力意識（図-2）

積極的に取り組んでいる人が66%、ある程度取り組んでいる人が34%とほぼ全員が分別排出への協力意識がある。このことから、分別収集を実施することにより、分別収集への協力意識がある程度得られることを明確にした。

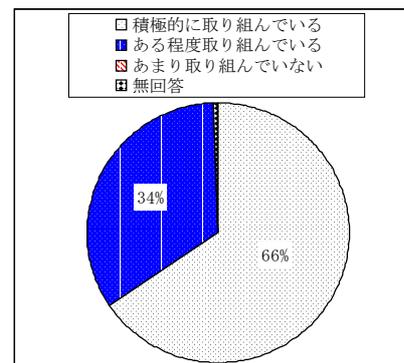


図-2 分別収集への協力意識

(2) 分別収集の賛否（図-3）

非常に賛成している人が39%、賛成している人が53%である。よって、分別収集に非常に賛成と賛成と答えた人を足すと9割以上の人々が分別収集に賛成している。近年、住民に廃棄物減量やリサイクルの重要性が認識され始めてきたことにより、分別排出し廃棄物減量やリサイクルをしなければならないと住民自身が考えていると予想される。

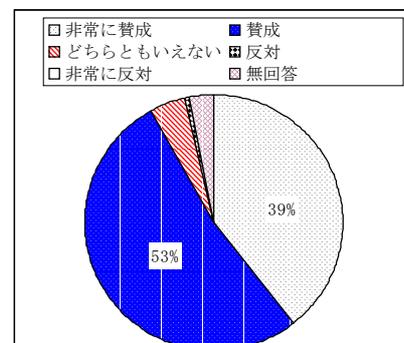


図-3 分別収集の賛否

(3) 容器包装類の購入時の心がけ（図-4）

洗剤等は詰め替え用を必ず購入する人が47%であり、あまりしてない人は4%であった。このことから、洗剤等は詰め替え用を購入することにより廃棄物減量につながる事が、住民に浸透してきていると考えられる。

キーワード：容器包装類、分別収集、意識

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL 06-6368-1121 内線(5685)

一方、家庭で容器包装類を分別後に保管しておくため同じ形の容器を購入する、容器についているラベルが剥がしやすいものを購入する人は10%以下であり、あまり購入しない人は60%以上であった。

4. 数量化Ⅱ類の分析結果 (図-5)

容器包装類の分別収集の取り組み意識に影響を与える要因を明らかにするため、数量化Ⅱ類を用いて分析を行った。そこで、図-2 で示した積極的に取り組んでいる(積極的に協力)と、ある程度取り組んでいる(消極的な協力)を取り組み意識の目的要因として分析を行った。

(1) 排出量と取り組み意識

A 地区で容器包装類の分別収集で対象となっているペットボトル、白色トレイ及びプラスチックボトルの1ヶ月あたりの排出量に対する影響度を分析した。

その結果、ペットボトルの排出本数(レンジ: 1.21)と白色トレイの排出枚数(レンジ: 1.41)は分別収集への取り組み意識に大きく影響しており、容器包装類の排出量が増加するにつれて、分別収集に積極的に協力していることを明らかにした。

(2) 容器包装類の購入時の心がけと取り組み意識

次に、容器包装類を購入する時に心がけていることに対する影響度を分析した。

その結果、捨てる時に小さくなるものを購入する(レンジ: 1.55)、分別を容易にするために同じ形の容器のものを選んで購入する(レンジ: 1.44) 分別排出時にラベルの取り外しが容易なものを選んで購入する(レンジ: 1.30) ことは取り組み意識に大きく影響している。分別収集への協力意識が高い人は、容器包装類の回収が1ヶ月に1回のため、家庭での保管場所のスペースを少しでも小さくしたいと考えていることが影響していると予想される。つまり、分別排出を行うことを想定して購入容器を選んでいる人が、分別排出に協力的であることを明らかにした。

(3) 分別収集への賛否と取り組み意識

分別収集への賛否(レンジ: 1.67)は取り組み意識に大きく影響しており、分別収集に対して非常に賛成している人は積極的に協力しているが、賛成と答えた人は消極的な協力をする傾向が見られる。

5. まとめ

本研究は、容器包装類の分別収集の取り組み意識に影響を及ぼす因子の抽出を行った。その結果、ペットボトルや白色トレイの排出量が多い人、容器包装類の購入時に分別排出を行うことを想定している人、分別収集について非常に賛成している人が、分別収集に積極的に協力する傾向が見られた。

このことから、分別収集への協力意識をさらに向上させるためには、容器の購入時にラベルがはがしやすく、小さくするため、同じ形の容器を購入してもらうように、事業者が率先して取り組むことが重要である。そのため、事業者が容器包装類を製造する際に、容器包装類の規格の統一化を目指し消費者が分別排出しやすい容器包装類を製造していくことが重要である。

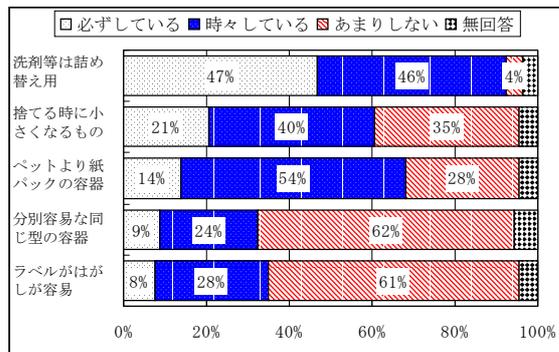


図-4 容器包装類の購入時の心がけ

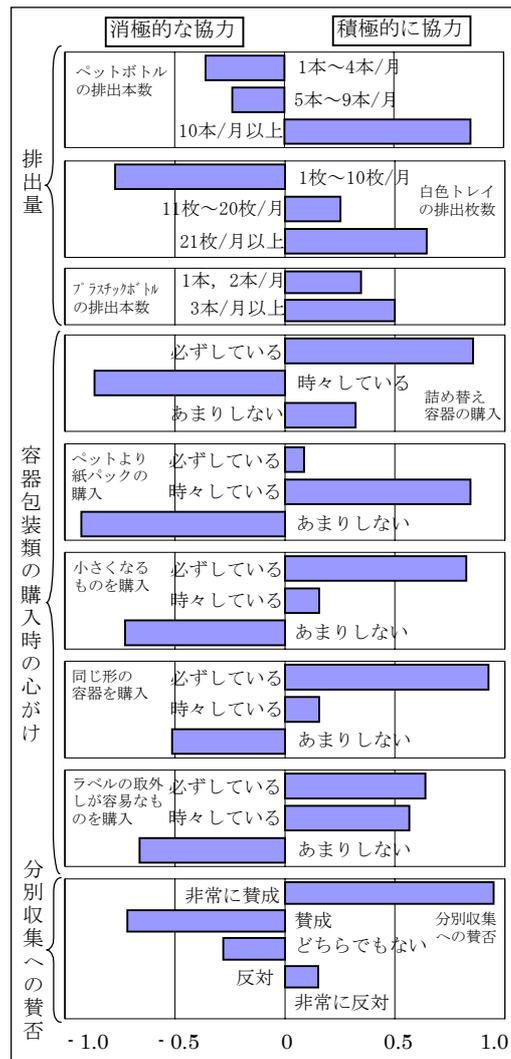


図-5 数量化Ⅱ類の分析結果